

「ワンコイン・エコ」など引越会社に新しい営業手段を提供 取引会社には無料の「家電回収サービス」も 日本リユースシステム

景気低迷の中、消費者の価格に対する要求はますますシビアになってきている。引越業界も受注競争が厳しさを増し、引越単価の低下が続いている。そうした中、引越会社への新しい提案として、日本リユースシステム（本社・東京都港区、山田正人社長）は2009年初めから『ワンコイン・エコ』という新しいサービスの導入を呼びかけている。すでに導入した引越会社からは「営業の新しい武器ができた」と喜ばれているという。山田正人社長へのインタビューの要旨は次の通り。

——『ワンコイン・エコ』が昨年から話題になっています。これはどのようなサービスですか。

「『ワンコイン・エコ』は、引越時に出る廃棄衣料をお客様に500円負担してもらい集めるというサービスです。その500円はポリオワクチン5本分の購入費と開発途上国への輸送費とにあてられます。廃棄衣料の回収に加えて社会貢献ができるのでお客様の満足度は高まります。また、引越会社さんが集めた廃棄衣料を4トン車満載で当社の倉庫に持ち込んでもらえれば、運賃として4万5千円を当社が支払います。当社の経営理念である“三方よし”を実現したサービスです」

——厳しい引越市場の中、お客様への新しいアプローチ方法が求められています。

「私も、今の引越サービスにいかに付加価値を付けて、単価と利益率を上げるかをもっと考えるべきだと思います。当社には『家電回収サービス』という独自のサービスもあり、テレビや冷蔵庫などの家電リサイクル法対象品目を無料で回収しています。引越会社さんにとっては、処理コストの削減ができ、利益率が向上します。ただ、スキーム（仕組み）が理解されにくいのが課題です」

——すでに導入した引越会社からの評判はどうですか。

「半信半疑で当社のサービスを導入した引越会社さんから『営業担当者の武器が二つも増えた。運賃だけでなく、付加価値で勝負できるようになった』と喜ばれています」

【ワンコイン・エコ】 90リットルの袋いっぱい（約300袋）の不用衣類を500円で回収するサービス。日本では引越時に一人あたり60リットルの不用衣類が出るといわれており、90リットルは1.5人分にあたる。一家族を3人と考えると一家族あたり2袋（180リットル）の回収が可能になる。お客様から頂く回収費用500円のうち、100円がワクチン購入費用、残りの400円が運送費などにあてられる。

4トン車いっぱい（約300袋）を埼玉県三郷市にある日本リユースシステムの倉庫まで運ぶと当社が約4万5千円で引き取る。消費者に喜ばれ、さらにゴミ削減や資源の有効活用も図れるメリットがある。

【家電回収サービス】 同社の「廃棄物処理ワンストップサービス」を利用している企業に対し、テレビや冷蔵庫などの家電リサイクル法対象品目を無料で回収するサービス。

【会社概要】 □社名＝日本リユースシステム株式会社 □所在地＝〒108-6028 東京都港区港南2-15-1、品川インターシティA棟28階 □設立＝平成17年6月28日 □資本金＝2千万円 □主要取引銀行＝りそな銀行
□代表取締役社長＝山田正人 □取締役＝吉井章（㈱丸和運輸機関）、南越貴一（㈱南越商会）
□関連会社＝㈱南越商会（中古品輸出専門商社） □業務提携先＝㈱丸和運輸機関（総合物流）
□主要株主＝山田正人、㈱丸和運輸機関、㈱南越商会、上田雅彦（ブックオフスタートアップ社長）、山本善政（ハードオフコーポレーション会長）、寒川登代志（T・M・Jグループ社長）